

昭和五十三年七月四日受領
答 弁 第 五 九 号

(質問の 五九)

内閣衆質八四第五九号

昭和五十三年七月四日

内閣総理大臣 福田 赳 夫

衆議院議長 保 利 茂 殿

衆議院議員荒木宏君提出関西新国際空港の条件調査に関する質問に対し、別紙答弁書を送付する。

衆議院議員荒木宏君提出関西新国際空港の条件調査に関する質問に対する答弁書

一について

御指摘の諸調査の結果は、適宜、関係府県を通じて公表することといたしたい。

二について

関西国際空港計画の事前評価については、その評価の主体、評価の方法、評価の基準等について十分検討の上、関西国際空港調査の全体計画に基づく諸調査の終了を待つて、実施することといたしたい。

三について

昭和五十三年度における関西国際空港周辺地域調査の実施については、現在検討中である。周辺地域整備計画の作成方法等については、関係地方公共団体の意向と自主的努力に配慮し、

必要に応じ、関係行政機関の連絡調整を図りつつ検討していく考えである。

四について

御質問の飛行経路については、空港条件調査の一環として調査を進めているところである。

五について

今後の航空輸送需要については、第三次空港整備五箇年計画策定時に昭和六十年度の需要を次表のとおり想定している。

	乗降客数(千人)			取扱貨物量(千トン)		
	国際	国内	計	国際	国内	計
全国	二七、〇〇〇	一三〇、〇〇〇	一五七、〇〇〇	一、三〇〇	一、二六〇	二、五六〇
大阪地区	六、二〇〇	二四、五〇〇	三〇、七〇〇	三五〇	三〇〇	六五〇

六について

関西国際空港の計画に係る調査の実施方針については、昭和五十一年九月に運輸省航空局長が関係府県知事に明らかにしたとおりである。

右答弁する。